

令和7年度 美津島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	116	51	48	5.3	8.3
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
理科	489
学校	489
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

**令和7年度 美津島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

調査結果から

【成果と課題】

(理科)

無回答率が低いが、全国に比べると正答率は低くなっている。元素記号などを正しく表記できないなど、正確に表記することにも課題が残った。また、特に生物、地学分野の理解に課題が見られた。

(国語)

全国・大阪府平均と比較して知識・技能領域が+2.5～+3.2ポイント、思考・判断・表現領域が-2.2～-4.3ポイントであった。知識・技能領域では全国・大阪府平均を上回る結果となった。しかし、思考・判断・表現領域では前年度よりも全国・大阪府平均に近づいてはいるが下回る結果となった。

問題形式においては選択式問題の正答率が-1.1～-2.6、短答式問題の正答率が+4.8～+3.8と前年度よりも上回る結果だった。しかし、記述式の問題に関しては-5.2～-7.9ポイントと前年度と同様大きな課題が残る結果となった。

漢字や語句の意味については得点ができるが、文章から読み取った内容に対して自分の考えを書く問題の正答率が低かった。

(数学)

大阪府・全国平均と比較して、平均正答率は同等以上の結果を得ることができ、無回答率においても低い水準であった。しかし、記述式の無回答率においては府・全国と比較して約5%高い問題もあった。

【今後に向けて】

(理科)

現在学習中の分野については、過去の復習を多く取り入れながら進めていく。その中で、論理的に考えながら理解できるような授業づくりをしていく。

(国語)

漢字・文法などの言語事項については基礎的な内容の学習や小テスト、反復練習を引き続き行い、教材の工夫に取り組む。

また、読解した文章・資料や他者の意見に対して自分の考えをまとめられるように授業の工夫を行い、グループ学習にも積極的に取り組む。

(数学)

引き続き、小テストおよびグループ学習を実施し、基礎学力の定着を徹底する。また、記述式を苦手とする生徒が多いので、授業においても、解説も含め、丁寧に指導していきたい。

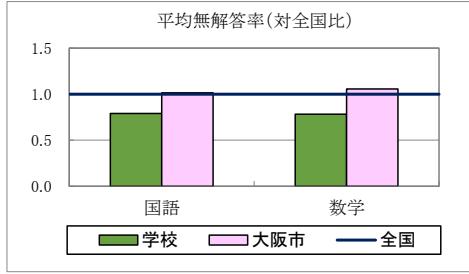
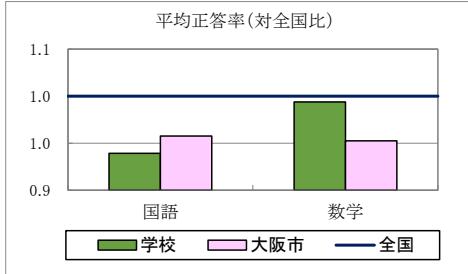
**令和7年度 美津島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	51	48
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

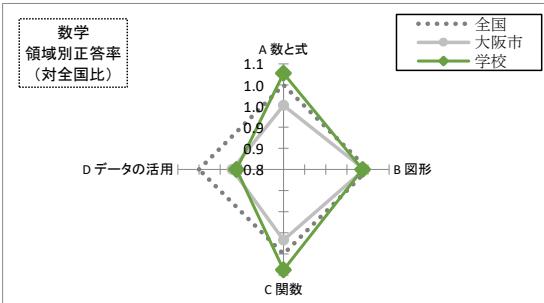
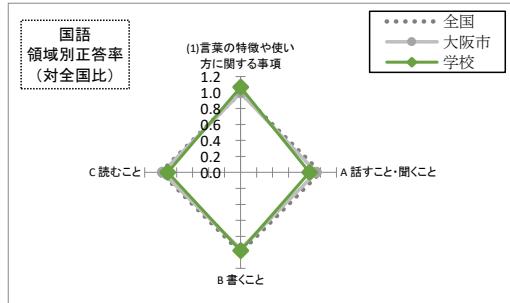
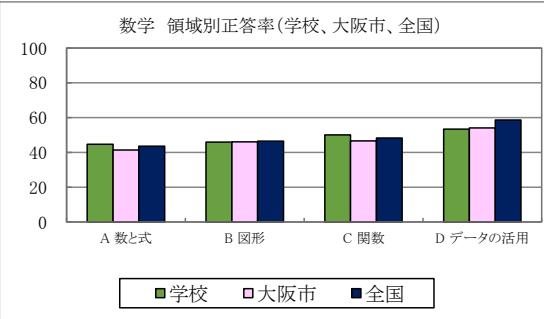
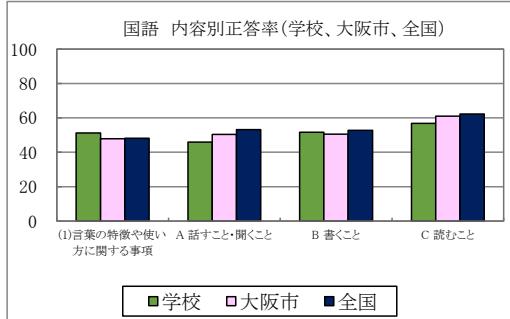
平均無解答率(%)	
国語	数学
5.3	8.3
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	51.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	45.9	50.4	53.2
B 書くこと	5	51.7	50.6	52.8
C 読むこと	3	56.8	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	44.7	41.4	43.5
B 図形	4	45.9	46.1	46.5
C 関数	3	50.0	46.6	48.2
D データの活用	3	53.4	54.0	58.6

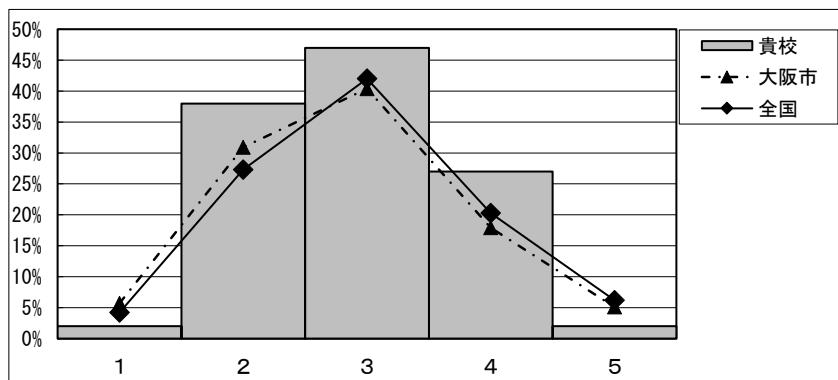
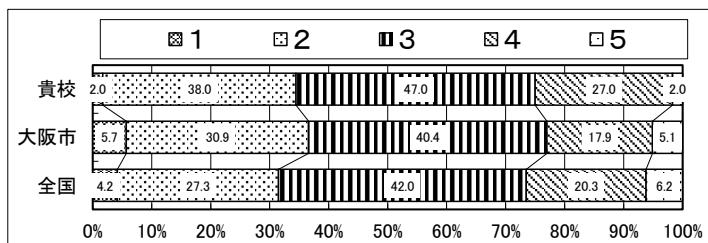


令和7年度 美津島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	489
大阪市	489
全国	503



令和7年度 美津島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

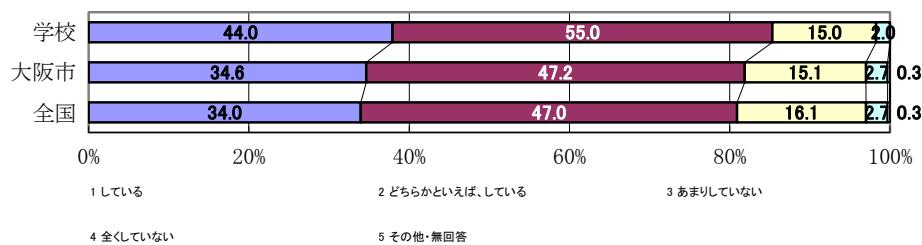
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

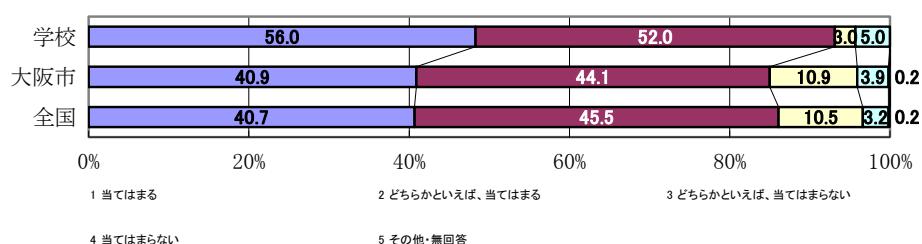
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



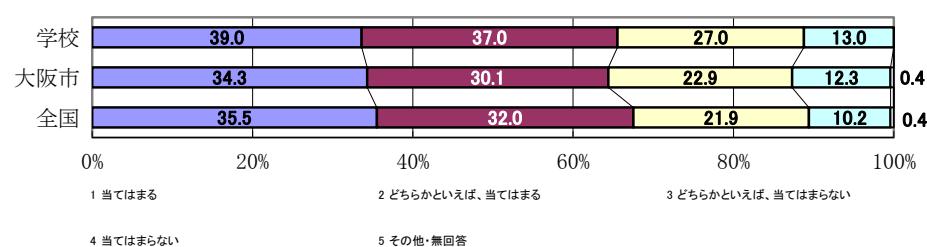
5

自分には、よいところがあると思いますか



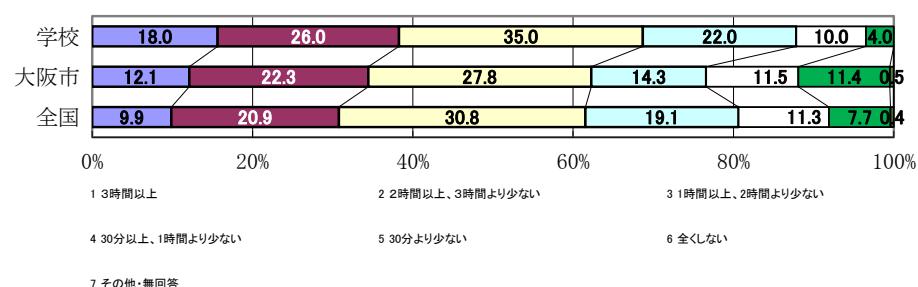
7

将来の夢や目標を持っていますか



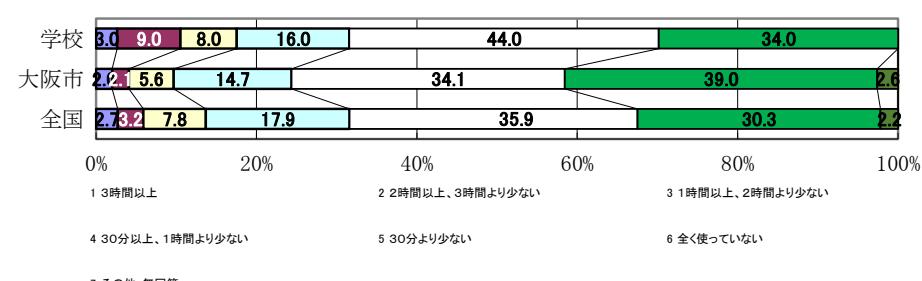
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



令和7年度 美津島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

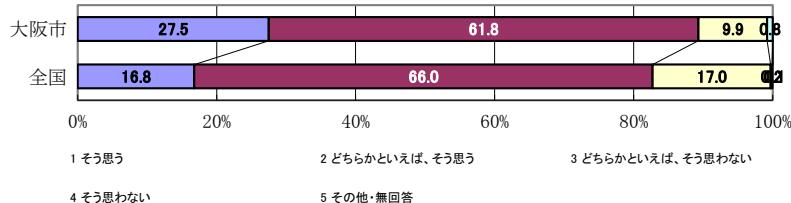
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

26

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

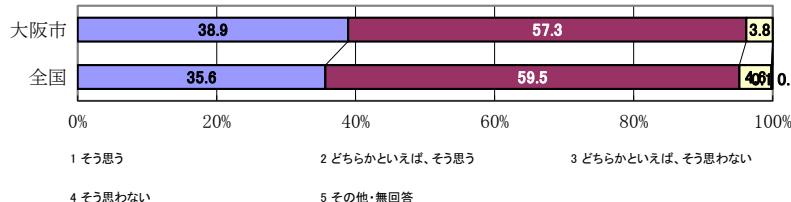
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

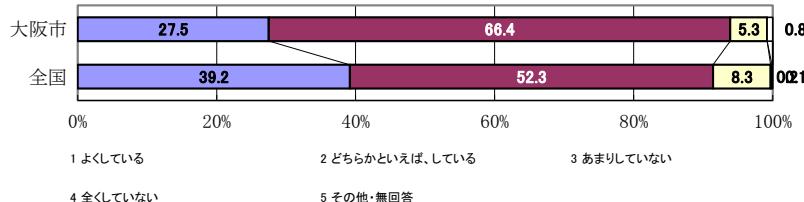
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



36

調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか

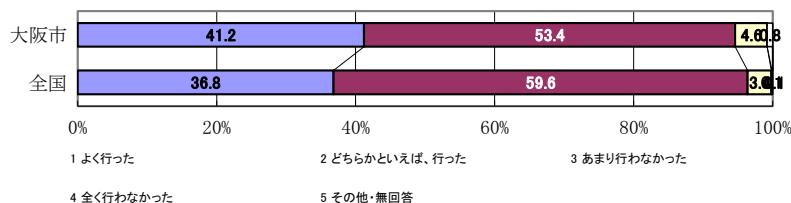
学校 「よくしている」を選択



42

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか

学校 「よく行った」を選択



47

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

